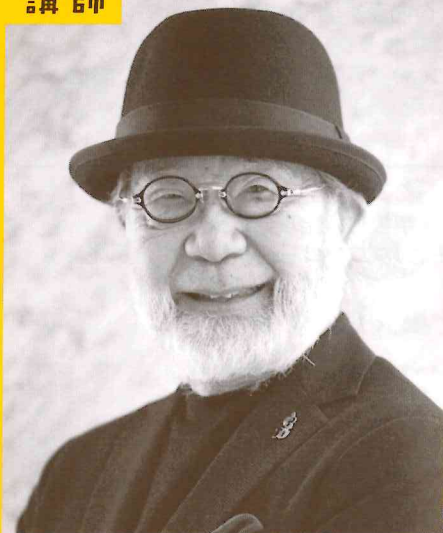


第60回 高校生のための 文化講演会

公益財団法人 一ツ橋文芸教育振興会

2025

講師



かま た みのる
鎌田 實
先生

演目

17歳のきみへ
人生で大事なことは、目には見えない

講師プロフィール

1948年、東京都生まれ。1974年、東京医科歯科大学医学部卒業。1988年、諏訪中央病院院長に就任。地域と一体になった医療や、食生活の改善・健康への意識改革を普及させる活動に携わる。2005年より同病院名誉院長。チェルノブイリ原発事故後の1991年より、放射能汚染地帯へ医師団を派遣し、医薬品を支援。ウクライナ避難民支援にもいち早く着手。2004年からイラクの4つの小児病院へ医療支援を実施、難民キャンプに5つのプライマリ・ヘルス・ケア診療所をつくった。国内でも全国の被災地に足を運び、講演会、支援活動を行っている。『がんばらない』『雪とパイナップル』『アハメドくんのいのちのリレー』など著書多数。最新刊は、『17歳のきみへ 人生で大事なことは、目には見えない』。

写真・鎌田聡子

公益財団法人 一ツ橋文芸教育振興会について

当財団は、創業以来青少年文化の向上発展をめざしてきた株式会社集英社が、創業50周年を迎えた1976年5月7日、文部大臣（現・文部科学大臣）の設立許可を得て創設し、2013年4月1日に公益財団法人へ移行しました。その目的は青少年に対する学校教育の助成をはかり、あわせて青少年の文芸的資質の向上に寄与することにあります。このため、集英社が10年間にわたって実施してきた「高校生のための文化講演会」を1976年より当財団が継承、さらに広く、積極的に実施しています。また同一の趣旨のもと、1981年から「全国高校生読書体験記コンクール」を開始し、多くの皆様のご支援を得て大きな成果をあげています。